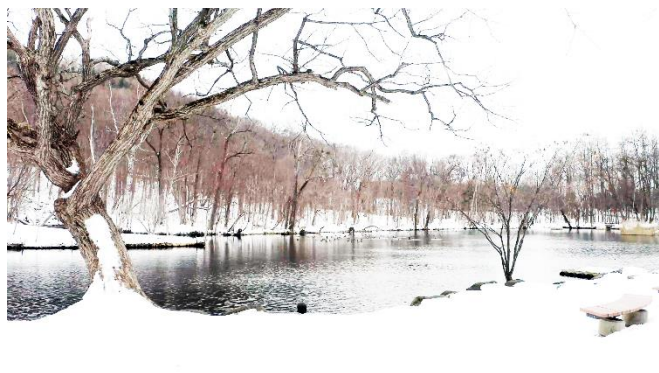


ふらの ビジョン
FURANO VISION 2030

アクション プラン
ACTION PLAN
2019 ▶▶▶ 2022



第 I 期



INTRODUCTION

富良野市が目指すべき観光の姿に向かって

2019年3月に発行した「FURANO VISION 2030」。
これを基準に、3～4カ年ごとに進めていくべき具体的な事業を洗い出し、
さらに、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み
また、観光における世界の動向、国や北海道を取り巻く状況に合わせて
あらためて「アクションプラン」を作成しました。
この間実施してきたこと、今後実施すべき計画的戦略をもって、
2030年の目指すべき姿に近づくべく、
一歩ずつ進めていきます。

本紙では、初期（第Ⅰ期）に当たる
2019年～2021年までに実施したこと
2022年に実施していくこと

その先にある

第Ⅱ期以降への展望

を提示いたします。

実施主体については、
DMO（DMC）がマネジメントし、
具体的な事業については、今後の協議の中で
主体になる組織・事業者とのコンセンサス形成
を図り実施していくイメージで
組み上げたプランです。

DMOを核とした観光地ブランディング

P3 旅前・旅中・旅後におけるマネジメントとマーケティング

2019-2021 5つの重点項目別<実施してきたこと>

P4 1.滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出

P5 2.快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備

P6 3.来訪者の滞在を演出するサービス集積

P7 4.持続性を確保するしくみ

P8 5.住民生活の質を高める環境づくり

評価検証から見えてきた課題

P9 お客様目線におけるマネジメントとマーケティングのバランス

P10 評価検証から見えてきた課題

課題の評価から解決の優先順位を探る

P11 課題抽出→「重要度」「緊急度」の分類付け→優先順位の属性化

P12 事業別の評価方法（属性化の基準）

2022以降 5つの重点項目別<着手すべきこと>

P13 1.滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出

P14 2.快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備

P15 3.来訪者の滞在を演出するサービス集積

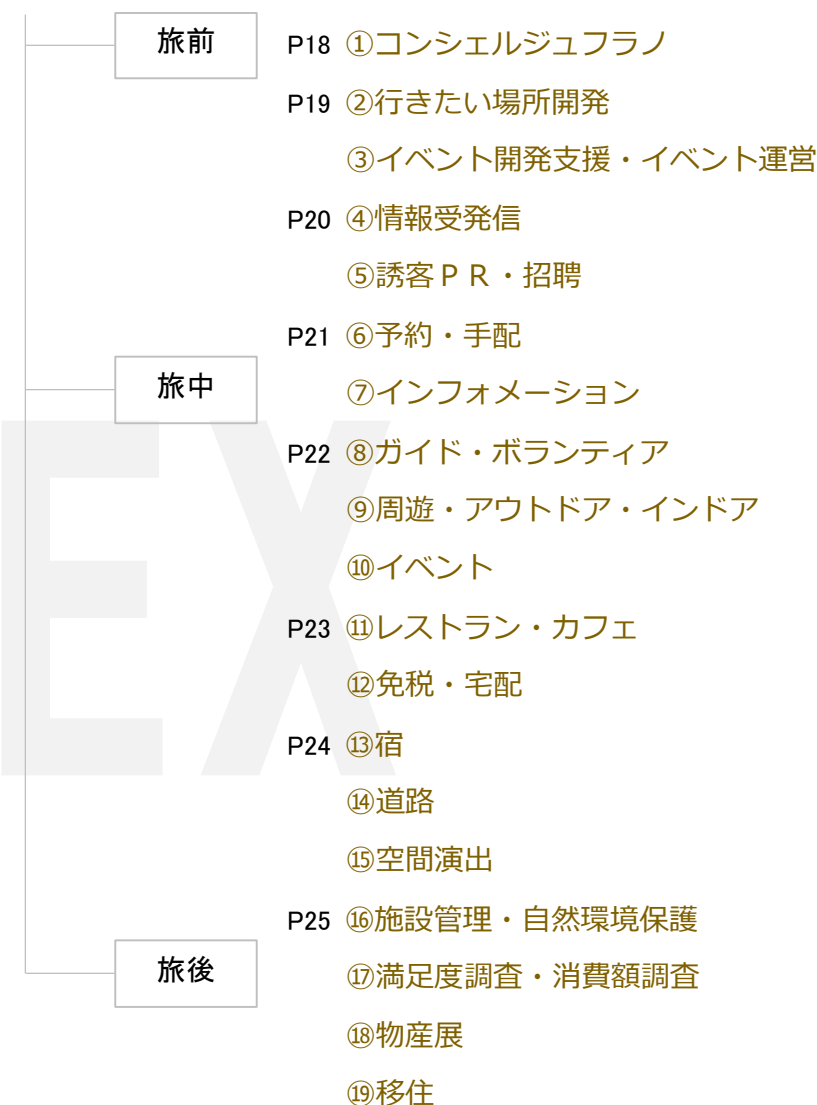
P16 4.持続性を確保するしくみ

P17 5.住民生活の質を高める環境づくり

DMOを核とした観光地ブランディング

P18 2022着手すべきことを「持続性を確保する仕組み」への落とし込み

旅のフェーズ別戦略



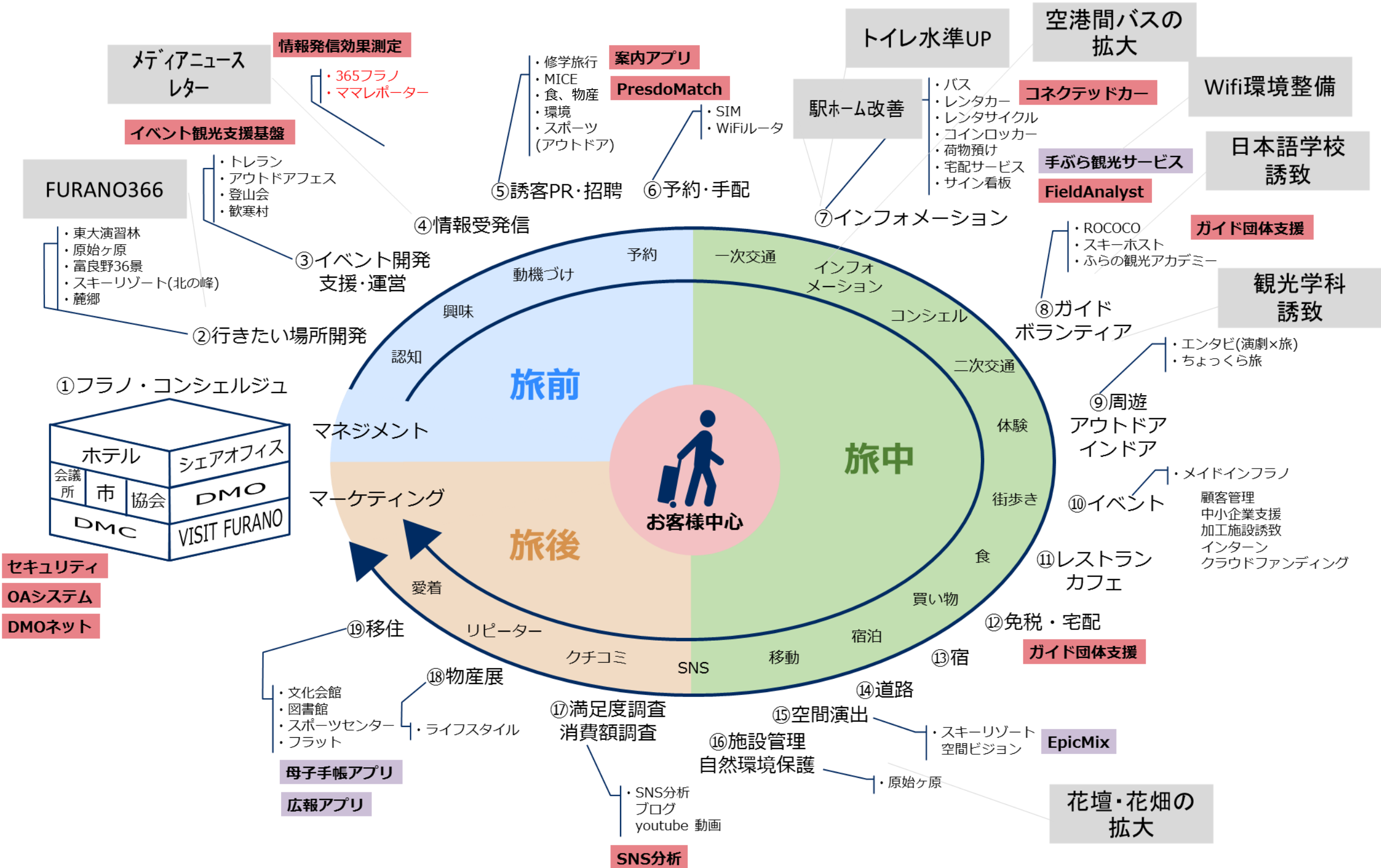
P26 お客様目線におけるマネジメントとマーケティングのバランス

プランニングの策定スキーム・実施スケジュール

P27 2030年までの期間をⅢ期に分けてプランニングと評価検証

#20:DMOを核とした観光地ブランディング

(FURANO VISION 2030 P64より転記再掲)



5つの戦略
 (重点項目)

1. 滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出
2. 快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備
3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積
4. 持続性を確保するしくみ
5. 住民生活の質を高める環境づくり

第Ⅰ期 に実施してきたこと

1. 滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出

 ↓
 2021

実施してきたこと	P3お客様の旅行フェーズ		
	旅前	旅中	旅後
日常を切り取った動画の発信による誘客PR「Furano366～ふらので叶えたい366のコト～」	②④		
WeChat運営による細やかな富良野情報の発信やキャンペーンの実施	④⑤⑥	⑦⑨⑩⑪	⑰
メイドインフラノ事業による市内特産品のブランド力向上	③	⑩	
「ふらの割」事業、「ふらのウェブキャンペーン」事業などを通じた市内宿泊施設や観光事業者との連携協働	③④⑤⑥	⑬	⑰
「北海へそ祭り」「ふらのワインぶどう祭り」「ふらのアスパラ祭り」などイベントの実施	③	⑩	
原始ヶ原を含む富良野岳登山、富良野西岳、芦別岳登山コースの整備と、維持管理による使いやすさの向上	②	⑨⑯	
「ふらの大地和牛」など突出した地元産品のブランディング	③	⑩	
太陽の里キャンプ場の指定管理による体験メニュー、設備の維持向上	②	⑨⑯	
山部@まるごと体験村による、各種体験メニューの開発提供	②③⑤	⑧⑨⑩	
東山もりあげ隊によるフットパス事業等、地域の景観と食をテーマにした旅行商品の企画造成	②③⑤	⑧⑨⑩	
市公式LINEアカウントを取得し、市内外への観光情報の発信と共有	④⑤	⑦	⑰⑱
ぶどう畑での試飲会など、特色ある景観と特産品をセットにした商品PR	③④⑤	⑨⑩⑯	
新商品ワイン開発や、全国物産展出展等の販売促進事業を実施	③④⑤		⑱
「ふらの歓寒村」や「ふらのスキー祭り」など、冬の特色を活かした滞在目的の創出	①③	⑧⑨⑩⑬⑮	
ドラマ「北の国から」ロケ施設への誘客、放映40周年記念各種事業を実施による再誘客	①③④⑤	⑨⑩⑮⑯	
協会会員拡大による、宿泊を中心とした市内観光関連施設の営業形態把握と情報発信、宿泊手配	①④⑥	⑦⑧⑪⑬	
富良野教育旅行センターの運営によるブランディング、全国の学校に向けた修学旅行誘致PR	①⑤⑥	⑧⑬	
「心に残る旬感を」として、7つの体験に分類した滞在の提案	①②④⑤	⑨⑮	
「富良野美瑛COLOR」として四季折々の色を発信し、旅行意欲に訴求する取組み	①②④⑤	⑨⑮	
旅行会社やメディアを招請し体験記をレポート化することで、旅前に旅行者目線の感想を目にってもらう取組み	①④⑤	⑪⑬	
観光人材育成研修「観光アカデミー」による、ホスピタリティ向上事業を実施	①	⑨	
「心に残る旬感人」として、地域で魅力を創造発信する人材をピックアップし、旅行者と地元人材の交流を促進	①④	⑧⑨⑪⑬	
北の峰ゲレンデへの菜の花植栽による春期の景観魅力拡大	①②	⑮⑯	
パン&スイーツフェア、まちなかビールパーティ&国際交流、フラノピアモールなど集客交流イベントの実施	③⑤	⑨⑩	
市内飲食店舗や宿泊施設の詳細を伝える動画制作とYouTubeでの情報発信	①④⑤	⑪⑬	

5つの戦略
 (重点項目)

1. 滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出
2. 快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備
3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積
4. 持続性を確保するしくみ
5. 住民生活の質を高める環境づくり

第Ⅰ期 に実施してきたこと

2. 快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備

↓ 2021	実施してきたこと	P3お客様の旅行フェーズ		
		旅前	旅中	旅後
	商店街活性化支援	①③	⑩⑪⑮	
	創業支援	①③	⑩⑪⑮	
	企業立地支援	①③	⑩⑪⑮	
	店舗改修支援	①③	⑩⑪⑮	
	ライブカメラによる観光地の景観をリアルタイムに発信する取組み	①②④	⑦⑮	
	自転車旅行博への出展PR	①③④⑤		
	自転車活用推進計画の策定	①④	⑨⑭⑮⑯	
	トマム富良野間二次交通実証運行事業を実施	①⑤⑥	⑦⑨⑭	⑰
	市内二次交通実証運行事業(QR決済機能の実証等)	①⑤⑥	⑦⑨⑭	⑰

5つの戦略
 (重点項目)

1. 滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出
2. 快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備
3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積
4. 持続性を確保するしくみ
5. 住民生活の質を高める環境づくり

第Ⅰ期 に実施してきたこと

3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積

↓ 2021	実施してきたこと	P3お客様の旅行フェーズ		
		旅前	旅中	旅後
	中心市街地における観光コンシェルジュ施設の設置	①④⑥	⑦⑮	
	観光インフォメーション窓口の、駅横、コンシェルジュプラノへの設置	①④⑥	⑦⑮	
	滞在時の消費活動を促進する、キャッシュレス決済導入の推進	⑤	⑩⑪⑬	⑰
	メイドインフラノ事業による、食のブランディング	③④	⑩⑪⑫	⑱
	北の峰花壇植栽管理委員会による、地域協働での景観美化事業を継続	②⑤	⑧⑨	
	博物館展示物の英語翻訳導入による、欧米人観光客に訴求する旅のストーリー演出	②④⑤	⑨⑮⑯	
	ふらのワイン工場を拠点とする、ワイナリー経営と商品開発、販売		⑨⑩⑪⑫	⑯⑱
	特産ワインと地元産品とのマリアージュを提案		⑨⑩⑪	⑱
	観光ホスピタリティ研修の定期実施	①	⑧⑪⑬	
	インフォメーション機能の窓口対応	①	⑦⑧	⑰
	観光ボランティアとの連携による旅中での滞在サポート	①	⑦⑧	
	VTJM等MICE商談会への積極的参加による、需要と課題の把握	①④⑤⑥		⑰
	ドラマ「北の国から」ロケ施設の運営	①③④⑤	⑨⑩⑮⑯	
	富良野版体験旅行の取りまとめ、ガイド誌の発行とPR(民間連携)	①②③⑤⑥	⑨⑬⑮	
	観光人材育成研修によるホスピタリティ向上	①	⑧⑨⑪⑬	
	北の峰ゲレンデへの菜の花植栽による春期の景観魅力拡大	①②	⑮⑯	
	スキー場での、海外スキー愛好者にとって利便性の高い設備の導入、ハードソフト両面での受入環境整備	②	⑩⑮⑯	
	市内バスのキャッシュレス決済実証事業	⑤	⑥⑦⑨⑭	⑰
	ニングルテラス、チーズ工房など、シンボリックな観光施設の運営		⑦⑨⑪⑮⑯	
	スキーホスト事業による、海外スキー客へのおもてなし	⑤⑥	⑦⑧	

5つの戦略
 (重点項目)

1. 滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出
2. 快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備
3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積
4. 持続性を確保するしくみ
5. 住民生活の質を高める環境づくり

第Ⅰ期 に実施してきたこと

4. 持続性を確保するしくみ

↓ 2021	実施してきたこと	P3お客様の旅行フェーズ		
		旅前	旅中	旅後
	観光振興財源として、宿泊税導入に向けた有識者会議設置と、導入の方向性を示す最終提言の確認			
	地域DMO設立に向けた検討・協議、学習			
	富良野観光ウェブキャンペーン実行委員会を起ち上げ、仮想地域DMOとしての観光誘客各種事業を展開	①②③④⑤	⑨⑩⑪⑮	⑰⑱
	観光顧客データの収集と管理分析、これらデータを活用したDM機能構築により個々への情報発信から誘客、繋がり形成	①④⑤		⑰
	観光誘客各種事業におけるデジタル広告等の活用による、ビッグデータに訴えるリアルタイムPRと、マーケティングを実施	①④⑤		⑰
	富良野市公式LINEの情報発信チームの設置と、リアルタイムな情報収集、集約、精査、発信、分析(官民連携)	①④⑤		⑰⑱
	オウンドメディアとしてのウェブサイト管理運営、サイトリニューアルによる情報提供方法の改善	①④⑤⑥	⑦	⑰
	アナリティクス分析による閲覧解析と戦略の見直し	①④⑤⑥	⑦	⑰
	市と連携した、富良野市公式LINEからのNOTEによる情報発信	①④⑤		⑰⑱
	広域事業における、デジタル媒体を活用した誘客促進の取組み ふらのびえい絶景スタンプラリー、ハッシュタグキャンペーン	①②③④⑤	⑨⑩⑮	⑰
	市内観光事業の情報共有とブラッシュアップのための意見交換	①		⑰
	フラノビジョン(アクションプランを含む)策定に向けた協議、課題の洗い出し	①		⑰
	市公式LINEと連携した富良野ファンの獲得と、ダイレクトな情報発信	①④⑤		⑰⑱

5つの戦略
 (重点項目)

1. 滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出
2. 快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備
3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積
4. 持続性を確保するしくみ
5. 住民生活の質を高める環境づくり

第Ⅰ期 に実施してきたこと

5. 住民生活の質を高める環境づくり

↓ 2021	実施してきたこと	P3お客様の旅行フェーズ		
		旅前	旅中	旅後
	市民の市内宿泊施設利用促進	①④⑤⑥	⑦⑬	
	冬季観光キャンペーン事業の市民利用も含めた展開実践	①②③④	⑩⑪⑬⑮	
	市内開業支援、新規出店支援、イベント開催支援、商店街活性化支援、創業支援、企業立地支援、店舗改修支援	①③	⑩⑪⑮	
	北海へそ祭り、ふらのワインぶどう祭り等、市民も含めたコンテンツの随時見直し、ブラッシュアップ	①②③④⑤	⑧⑨⑩⑮	
	フラノジョブスタイルによる市内求人情報と、しごとの魅力発信による、企業と人材のマッチングサポート	①④	⑩⑪⑬	⑰
	観光経済調査(5年ごと)や観光入込調査(毎年半期ごと)の実施と、調査結果の事業者フィードバック、市HPでのオープンデータ化	①④		⑰
	住民意識調査の実施と結果の共有	①④		⑰
	LINEや顧客データ管理システムによる、デジタルマーケティング	①④		⑰⑲
	登山道整備、観光公園整備、サイクリングロード整備	②	⑧⑨⑮⑯	
	観光アカデミーによる、広域での人材育成	①	⑧⑨⑪⑬	
	全国観光圏と連携した、観光満足度調査の実施と分析、結果の共有	①④		⑰
	自転車活用推進計画策定	①	⑦⑨⑭⑮	

5つの戦略
(重点項目)

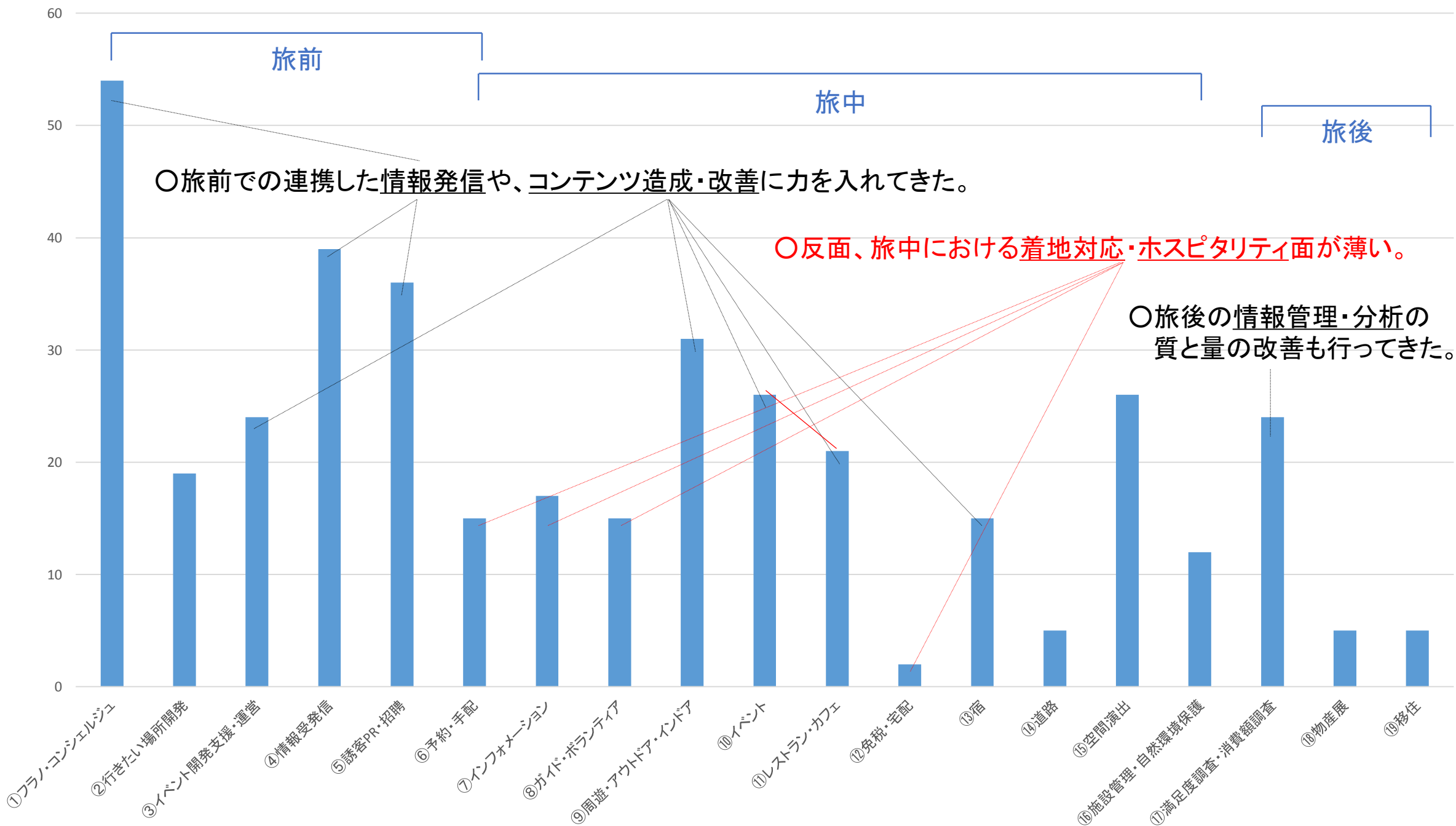
1. 滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出
2. 快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備
3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積
4. 持続性を確保するしくみ
5. 住民生活の質を高める環境づくり

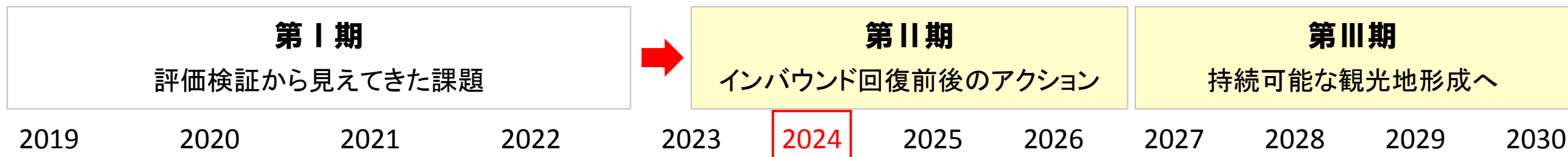
第Ⅰ期 に実施してきたこと

お客様目線におけるマネジメントとマーケティングのバランス

旅のフェーズ別 これまでに実施してきた事業件数バランス

↓
2021





2024年インバウンド回復想定の上で、2023年までの覚悟と備え必要⇒誰が舵取り役を担うのか？

- ・インバウンド多→宿泊単価上昇
- ・国内客アプローチ強化イメージ薄い
 - プロモーション手法
 - コンテンツ開発と、旅前旅中での提案が弱い
- ⇒国内海外誘客の共存とバランスが重要
- ・宿泊単価下げレースからの脱却がマスト(急務)
 - 2022から元に戻していく仕掛けが必要
- ⇒価格上昇時、サービスは上がらず満足度は低下する懸念
(早々に起こり得る)
- ・4,200ベッド ⇒ 5,256ベッドに宿泊キャパシティ増加
- ・FURANO FAN(優良顧客)を大切にしていく必要性
- ・地元事業者減、従業員流出による影響
- ・団体中心に受け入れていた事業者の疲弊度が大きい
- ・教育旅行の件数、人数減に対し単価は据え置き
- ・富良野は変わらないでほしいというニーズ
 - ⇒深掘していく必要性(不変を求めるポイント詳細など)

課題・KPI達成度評価検証 ↓ 優先順位の属性化

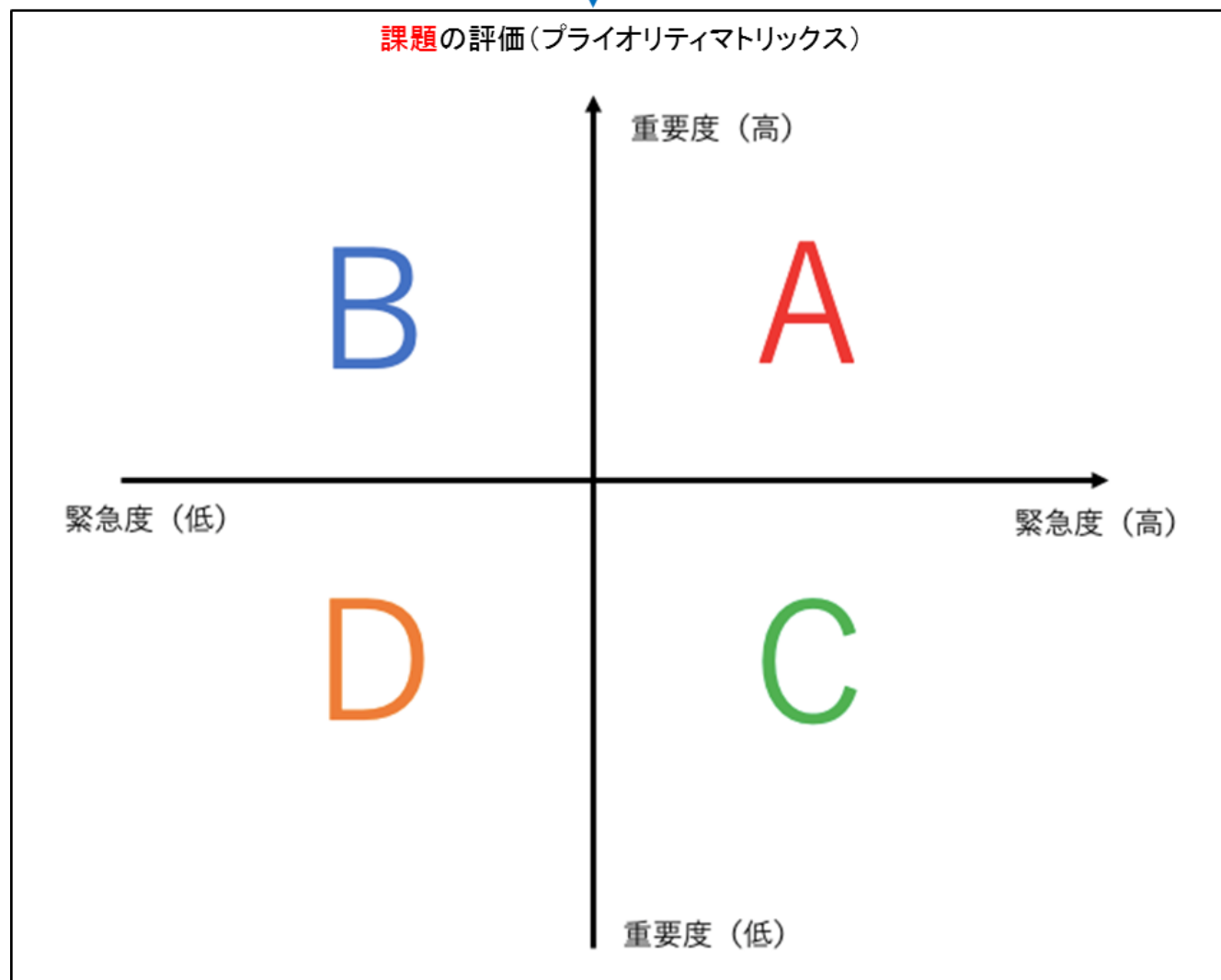
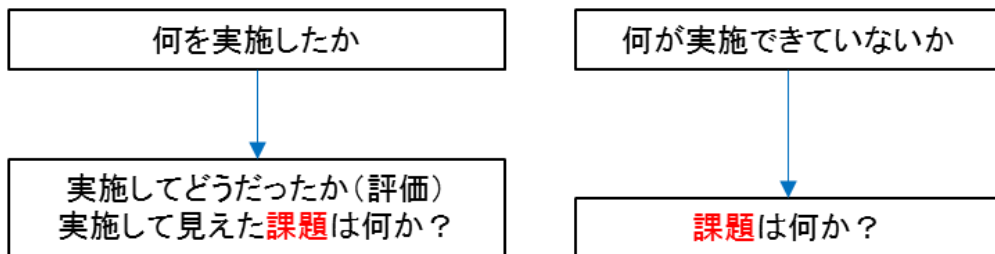
- **ウィズコロナにおける観光誘客(宿泊獲得)戦略**
 - ・【海外誘客】インバウンド受入体制の再構築
 - ・【国内誘客】優良顧客の把握を中心としたリピート化へのアクション
- **マーケティングに基づいた誘客プロモーションと分析**
 - ・ターゲットの細分化とそれぞれに訴求するナノプロモーションと効果測定
- **エリアが一体となり持続可能な観光地モデルを形成**
 - ・国際観光地としての体制整備
 - ・エリアへの興味関心、観光入込及び動態、観光消費額、観光満足度等マーケティング(調査から分析まで)の精度向上
 - ・宿泊税導入等での財源確保
 - ・観光地運営に必要な地域DMO(DMC)の確立
 - ・財源を活用したPDCA体制確立による観光地経営

重点項目別課題 = 2022に取組みを開始すべきこと

次ページ以降へ

課題の評価から解決の優先順位を探る

課題抽出→「重要度」「緊急度」の分類→優先順位の属性化



緊急度が高いAとCはわかりやすい
大切なのは、Bを見つけ出して、着実に前進させること

課題解決の優先順位属性化

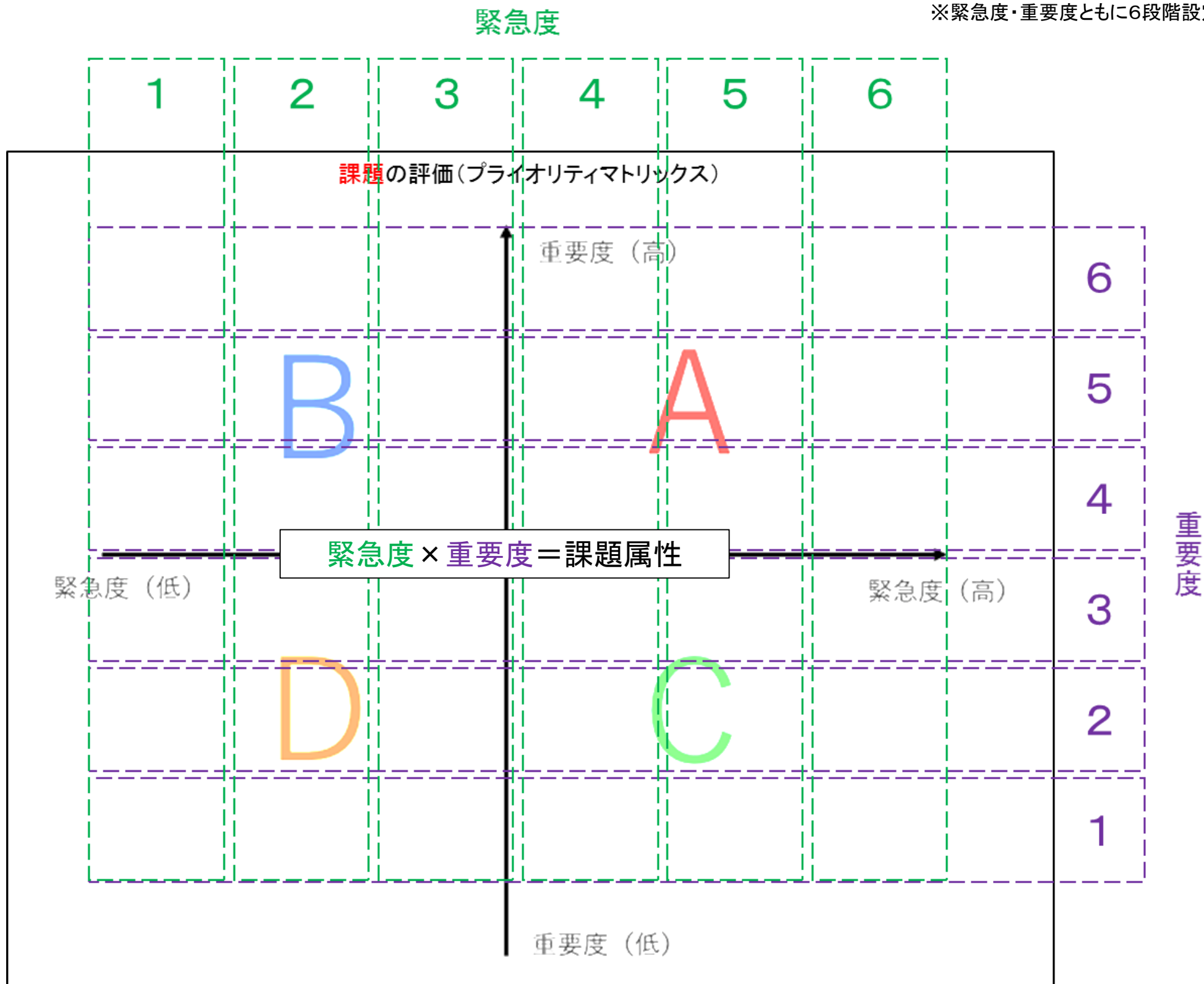
2022に開始すること
A ・ C

年度に関わらず
機会によっては
実施したいこと
B

課題の評価から解決の優先順位を探る

事業別の評価方法(属性化の基準)

※緊急度・重要度ともに6段階設定し、課題属性を設定する



5つの戦略
 (重点項目)

1. 滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出
2. 快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備
3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積
4. 持続性を確保するしくみ
5. 住民生活の質を高める環境づくり

重点項目別課題＝2022年度以降に着手すべきこと

1. 滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出

2022 ↓	実施すること	重要度	緊急度	課題属性	備考
	富良野スキー場北の峰ゾーンを活用した体験商品造成に向けた働きかけ	4	4	A	
	ホテルを中心に観光事業者を含む富良野の観光情報学習及び共有の場づくり	5	5	A	
	閑散期開催企画募集、実施推進サポート	5	5	A	
	各モデルコースの選出、モニターツアーの実施	5	5	A	
	官民間わず現コンテンツの洗い出し	6	6	A	
2023 以降	東大演習林と意見を交換して共同で開放していく方向性を模索していく	4	3	C	Ⅱ期を想定。
	スーパーやリカーショップの充実化に向けた取組み	4	2	C	Ⅲ期を想定。
	インスタ映えするスポット(スキー場・北の峰道道線)の洗い出し及び造成	3	5	B	随時方向性を探っていく。
	ナイトライフ創造に関する具体化	3	4	B	
	地域ブランドの物産展展開、販売ショップブースの押し出し強化	3	3	D	物産展展開は実施済み。 ブース押し出し強化策を検討。

5つの戦略
 (重点項目)

1. 滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出
2. 快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備
3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積
4. 持続性を確保するしくみ
5. 住民生活の質を高める環境づくり

重点項目別課題＝2022年度以降に着手すべきこと

2. 快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備

2022 ↓	実施すること	重要度	緊急度	課題属性	備考
	災害等における緊急事態への対応について、現場事業者への把握状況確認	4	5	A	
	災害時における、場当たりのではない明確な体制の構築検討(通訳体制等)	5	5	A	
	外国資本企業や外国人観光客に対するルールの整備とアプローチ	5	5	A	
	市を取り巻く二次交通実態の整理、検証と今後に向けた方向性の見える化	5	4	A	
	持続可能な観光地づくりモデル事業に着手	6	6	A	
2023 以降	富良野駅とコンシェルジュフラノをデジタルで繋ぎ、顔が見える一步進んだ案内機能の導入	5	3	B	Ⅱ期を想定。

5つの戦略
 (重点項目)

1. 滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出
2. 快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備
3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積
4. 持続性を確保するしくみ
5. 住民生活の質を高める環境づくり

重点項目別課題＝2022年度以降に着手すべきこと

3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積

2022 ↓	実施すること	重要度	緊急度	課題属性	備考
	外資系不動産投資の実態把握と、予測される効果と懸念への対応策協議	5	5	A	
	インバウンド獲得拡大のためのスキーホスト強化	4	4	A	
	ICカード付リフト券以降のその他サービス提供の模索	5	3	C	
	演旅(エンタビ)事業の検証確認により、ターゲットごとの仮プランニングで次の造成ステップへ	4	3	C	
2023 以降	動物出没注意のオリジナル啓発(鈴やベルの設置を含む)	3	3	D	随時方向性を探っていく。

5つの戦略
 (重点項目)

1. 滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出
2. 快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備
3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積
4. 持続性を確保するしくみ
5. 住民生活の質を高める環境づくり

重点項目別課題＝2022年度以降に着手すべきこと

4. 持続性を確保するしくみ

2022 ↓	実施すること	重要度	緊急度	課題属性	備考
	観光PR素材の事業所間共有(インプット:Furanote/アウトプット:要件等)	5	5	A	
	市内宿泊事業者との宿泊税導入に向けた税額最終調整	6	4	A	
	北海道、総務省との宿泊税導入に向けた制度最終調整	6	4	A	
	DMO、DMCの組織化に向けた協議成果の見える化 ウェブキャンペーン実行委員会と戦略会議の連結等、実働隊を持ってビジョンを稼働させる体制づくり	6	6	A	
	地域観光戦略の各事業所への周知と、各事業所が抱える課題の把握、実践プランの把握	6	6	A	
	外国人観光客への滞在時のルール、海外資本企業への参入ルールについて、内容の精査とアプローチ方法を検討	5	5	A	
	ノベルティ等に頼らない、顧客データ取得の継続方法を確立	5	4	A	
	GPSと連動した観光客の動態把握、分析、コンテンツの改善	4	4	A	
	観光庁「持続可能な観光地づくりモデル事業」への参画を機会とし、指定要件を元に 今後の観光地富良野の在り方を整理	5	6	A	
	宿泊税導入に向けた制度設計及び条例提案	6	3	C	道の動きと 合わせて。
	サステナブルシフトへの協議	5	3	C	

5つの戦略
 (重点項目)

1. 滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出
2. 快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備
3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積
4. 持続性を確保するしくみ
5. 住民生活の質を高める環境づくり

重点項目別課題＝2022年度以降に着手すべきこと

5. 住民生活の質を高める環境づくり

2022 ↓	実施すること	重要度	緊急度	課題属性	備考
	イベントや祭りのボランティア人材を確保、これにより運営体制の新陳代謝を図る	6	4	A	
	富良野市版自転車活用推進計画策定 (サイクル観光のプラットフォーム、受入環境の取りまとめと発信強化)	5	5	A	
	都市計画と連携した、住環境、アクティビティ環境等、観光視点の設備活用を協議	5	5	A	
	農業やものづくり、アクティビティと宿泊などを結び付けた旅の把握、集約、発信	5	5	A	
	体験事業者がきちんとタッグを組んで、今あるものを整理整頓しながら、お客様にアクティビティをPR、提供	5	3	C	
2023 以降	市民もターゲットにした割引の集約や発信を、ワンストップで実施	5	3	C	随時方向性を探っていく。

5つの戦略 「持続性を確保する仕組み」
#20: DMOを核とした観光地ブランディング

#20 DMOを核とした観光地ブランディング（持続性を確保するしくみ）

施策	お客様の旅行フェーズ			P3より転記	2022に着手すべき取り組み(カッコ内は課題属性)
①コンシェルジュフラノ	旅前	旅中	旅後	ホテル	<ul style="list-style-type: none"> 富良野スキー場北の峰ゾーンを活用した体験商品造成に向けた働きかけ ホテルを中心に観光事業者を含む富良野の観光情報学習及び共有の場づくり 閑散期開催企画募集、実施推進サポート 各モデルコースの選出、モニターツアーの実施 官民間問わず現コンテンツの洗い出し 災害等における緊急事態への対応について、現場事業者への把握状況確認 災害時における、場当たり的ではない明確な体制の構築検討(通訳体制等) 外国資本企業や外国人観光客に対するルールの整備とアプローチ 市を取り巻く二次交通実態の整理、検証と今後に向けた方向性の見える化 持続可能な観光地づくりモデル事業に着手 外資系不動産投資の実態把握と、予測される効果と懸念への対応策協議 インバウンド獲得拡大のためのスキーホスト強化 演旅(エンタビ)事業の検証確認により、ターゲットごとの仮プランニングで次の造成ステップへ 観光PR素材の事業所間共有(インプット:Furanote/アウトプット:要件等) 市内宿泊事業者との宿泊税導入に向けた税額最終調整 北海道、総務省との宿泊税導入に向けた制度最終調整 DMO、DMCの組織化に向けた協議成果の見える化 ウェブキャンペーン実行委員会と戦略会議の連結等、実働隊を持ってビジョンを稼働させる体制づくり 地域観光戦略の各事業所への周知と、各事業所が抱える課題の把握、実践プランの把握 外国人観光客への滞在時のルール、海外資本企業への参入ルールについて、内容の精査とアプローチ方法を検討 ノベルティ等に頼らない、顧客データ取得の継続方法を確立 GPSと連動した観光客の動態把握、分析、コンテンツの改善 観光庁「持続可能な観光地づくりモデル事業」への参画を機会とし、指定要件を元に今後の観光地富良野の在り方を整理 宿泊税導入に向けた制度設計及び条例提案 サステナブルシフトへの協議 富良野市版自転車活用推進計画策定(サイクル観光のプラットフォーム、受入環境の取りまとめと発信強化) 都市計画と連携した、住環境、アクティビティ環境等、観光視点の設備活用を協議 農業やものづくり、アクティビティと宿泊などを結び付けた旅の把握、集約、発信 体験事業者がきちんとタグを組んで、今あるものを整理整頓しながら、お客様にアクティビティをPR、提供
				シェアオフィス (会議所、市、観光協会)	

5つの戦略 「持続性を確保する仕組み」
#20: DMOを核とした観光地ブランディング

#20 DMOを核とした観光地ブランディング（持続性を確保するしくみ）

施策	お客様の旅行フェーズ		P3より転記	2022に着手すべき取組み(カッコ内は課題属性)
②行きたい場所開発	旅前		FURANO366	<ul style="list-style-type: none"> 富良野スキー場北の峰ゾーンを活用した体験商品造成に向けた働きかけ 閑散期開催企画募集、実施推進サポート 各モデルコースの選出、モニターツアーの実施 官民間わず現コンテンツの洗い出し 持続可能な観光地づくりモデル事業に着手 ICカード付リフト券以降のその他サービス提供の模索 演旅(エンタビ)事業の検証確認により、ターゲットごとの仮プランニングで次の造成ステップへ GPSと連動した観光客の動態把握、分析、コンテンツの改善 都市計画と連携した、住環境、アクティビティ環境等、観光視点の設備活用を協議
			東大演習林	
			原始ヶ原	
			富良野36景	
			スキーリゾート(北の峰)	
麓郷				
③イベント開発支援 イベント運営	旅前		イベント観光 支援基盤	<ul style="list-style-type: none"> 富良野スキー場北の峰ゾーンを活用した体験商品造成に向けた働きかけ 閑散期開催企画募集、実施推進サポート 官民間わず現コンテンツの洗い出し 持続可能な観光地づくりモデル事業に着手 演旅(エンタビ)事業の検証確認により、ターゲットごとの仮プランニングで次の造成ステップへ GPSと連動した観光客の動態把握、分析、コンテンツの改善 イベントや祭りのボランティア人材を確保、これにより運営体制の新陳代謝を図る 農業やものづくり、アクティビティと宿泊などを結び付けた旅の把握、集約、発信 体験事業者がきちんとタッグを組んで、今あるものを整理整頓しながら、お客様にアクティビティをPR、提供
			トレラン	
			アウトドアフェス	
			登山会	
歓寒村				

5つの戦略 「持続性を確保する仕組み」
#20: DMOを核とした観光地ブランディング

#20 DMOを核とした観光地ブランディング（持続性を確保するしくみ）

施策	お客様の旅行フェーズ		P3より転記	2022に着手すべき取り組み(カッコ内は課題属性)
④情報受発信	旅前		メディアニュースレター 情報発信効果測定	FURANO366 ママレポーター <ul style="list-style-type: none"> 各モデルコースの選出、モニターツアーの実施 災害等における緊急事態への対応について、現場事業者への把握状況確認 災害時における、場当たりのではない明確な体制の構築検討(通訳体制等) 外国資本企業や外国人観光客に対するルールの整備とアプローチ 市を取り巻く二次交通実態の整理、検証と今後に向けた方向性の見える化 持続可能な観光地づくりモデル事業に着手 外資系不動産投資の実態把握と、予測される効果と懸念への対応策協議 観光PR素材の事業所間共有(インプット:Furanote/アウトプット:要件等) 地域観光戦略の各事業所への周知と、各事業所が抱える課題の把握、実践プランの把握 外国人観光客への滞在時のルール、海外資本企業への参入ルールについて、内容の精査とアプローチ方法を検討 GPSと連動した観光客の動態把握、分析、コンテンツの改善 富良野市版自転車活用推進計画策定 (サイクル観光のプラットフォーム、受入環境の取りまとめと発信強化) 農業やものづくり、アクティビティと宿泊などを結び付けた旅の把握、集約、発信 体験事業者がきちんとタッグを組んで、今あるものを整理整頓しながら、お客様にアクティビティをPR、提供
			修学旅行	
⑤誘客PR・招聘	旅前		MICE	<ul style="list-style-type: none"> 各モデルコースの選出、モニターツアーの実施 外国資本企業や外国人観光客に対するルールの整備とアプローチ 市を取り巻く二次交通実態の整理、検証と今後に向けた方向性の見える化 持続可能な観光地づくりモデル事業に着手 外資系不動産投資の実態把握と、予測される効果と懸念への対応策協議 インバウンド獲得拡大のためのスキーホスト強化 観光PR素材の事業所間共有(インプット:Furanote/アウトプット:要件等) 外国人観光客への滞在時のルール、海外資本企業への参入ルールについて、内容の精査とアプローチ方法を検討 農業やものづくり、アクティビティと宿泊などを結び付けた旅の把握、集約、発信 体験事業者がきちんとタッグを組んで、今あるものを整理整頓しながら、お客様にアクティビティをPR、提供
			環境	
			スポーツ(アウトドア)	

5つの戦略 「持続性を確保する仕組み」
#20: DMOを核とした観光地ブランディング

#20 DMOを核とした観光地ブランディング（持続性を確保するしくみ）

施策	お客様の旅行フェーズ		P3より転記		2022に着手すべき取組み(カッコ内は課題属性)
⑥予約・手配	旅前		案内アプリ PresdoMatch	SIM WiFiルーター	<ul style="list-style-type: none"> 富良野スキー場北の峰ゾーンを活用した体験商品造成に向けた働きかけ ホテルを中心に観光事業者を含む富良野の観光情報学習及び共有の場づくり 各モデルコースの選出、モニターツアーの実施 災害等における緊急事態への対応について、現場事業者への把握状況確認 災害時における、場当たりの明確な体制の構築検討(通訳体制等) 外国資本企業や外国人観光客に対するルールの整備とアプローチ 持続可能な観光地づくりモデル事業に着手 外資系不動産投資の実態把握と、予測される効果と懸念への対応策協議 インバウンド獲得拡大のためのスキーホスト強化 ICカード付リフト券以降のその他サービス提供の模索 GPSと連動した観光客の動態把握、分析、コンテンツの改善 農業やものづくり、アクティビティと宿泊などを結び付けた旅の把握、集約、発信 体験事業者がきちんとタッグを組んで、今あるものを整理整頓しながら、お客様にアクティビティをPR、提供
⑦インフォメーション		旅中	駅ホーム改善 コネクテッドカー トイレ水準UP 空港間バスの拡大 WiFi環境整備 手ぶら観光 サービス FieldAnalyst	バス	<ul style="list-style-type: none"> 各モデルコースの選出、モニターツアーの実施 災害等における緊急事態への対応について、現場事業者への把握状況確認 災害時における、場当たりの明確な体制の構築検討(通訳体制等) 外国資本企業や外国人観光客に対するルールの整備とアプローチ 市を取り巻く二次交通実態の整理、検証と今後に向けた方向性の見える化 持続可能な観光地づくりモデル事業に着手 外資系不動産投資の実態把握と、予測される効果と懸念への対応策協議 インバウンド獲得拡大のためのスキーホスト強化 ICカード付リフト券以降のその他サービス提供の模索 GPSと連動した観光客の動態把握、分析、コンテンツの改善 富良野市版自転車活用推進計画策定 (サイクル観光のプラットフォーム、受入環境の取りまとめと発信強化) 農業やものづくり、アクティビティと宿泊などを結び付けた旅の把握、集約、発信 体験事業者がきちんとタッグを組んで、今あるものを整理整頓しながら、お客様にアクティビティをPR、提供

5つの戦略 「持続性を確保する仕組み」
#20: DMOを核とした観光地ブランディング

#20 DMOを核とした観光地ブランディング（持続性を確保するしくみ）

施策	お客様の旅行フェーズ	P3より転記	2022に着手すべき取組み(カッコ内は課題属性)
⑧ガイド・ボランティア	旅中	日本語学校誘致 観光学科誘致 ガイド団体支援	ROCOCO スキーホスト ふらの観光アカデミー
		エンタビ(演劇×旅)	ちよっくら旅
⑨周遊 アウトドア・インドア	<ul style="list-style-type: none"> ・富良野スキー場北の峰ゾーンを活用した体験商品造成に向けた働きかけ ・ホテルを中心に観光事業者を含む富良野の観光情報学習及び共有の場づくり ・各モデルコースの選出、モニターツアーの実施 ・官民間問わず現コンテンツの洗い出し ・市を取り巻く二次交通実態の整理、検証と今後に向けた方向性の見える化 ・持続可能な観光地づくりモデル事業に着手 ・DMO、DMCの組織化に向けた協議成果の見える化 ・ウェブキャンペーン実行委員会と戦略会議の連結等、実働隊を持ってビジョンを稼働させる体制づくり ・地域観光戦略の各事業所への周知と、各事業所が抱える課題の把握、実践プランの把握 ・外国人観光客への滞在時のルール、海外資本企業への参入ルールについて、内容の精査とアプローチ方法を検討 ・GPSと連動した観光客の動態把握、分析、コンテンツの改善 ・富良野市版自転車活用推進計画策定(サイクル観光のプラットフォーム、受入環境の取りまとめと発信強化) ・農業やものづくり、アクティビティと宿泊などを結び付けた旅の把握、集約、発信 ・体験事業者がきちんとタッグを組んで、今あるものを整理整頓しながら、お客様にアクティビティをPR、提供 		
⑩イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・富良野スキー場北の峰ゾーンを活用した体験商品造成に向けた働きかけ ・閑散期開催企画募集、実施推進サポート ・官民間問わず現コンテンツの洗い出し ・持続可能な観光地づくりモデル事業に着手 ・演旅(エンタビ)事業の検証確認により、ターゲットごとの仮プランニングで次の造成ステップへ ・イベントや祭りのボランティア人材を確保、これにより運営体制の新陳代謝を図る ・農業やものづくり、アクティビティと宿泊などを結び付けた旅の把握、集約、発信 ・体験事業者がきちんとタッグを組んで、今あるものを整理整頓しながら、お客様にアクティビティをPR、提供 		

5つの戦略 「持続性を確保する仕組み」
#20: DMOを核とした観光地ブランディング

#20 DMOを核とした観光地ブランディング（持続性を確保するしくみ）

施策	お客様の旅行フェーズ		P3より転記		2022に着手すべき取組み(カッコ内は課題属性)
⑪ レストラン・カフェ	旅中		顧客管理	クラウドファンディング	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルを中心に観光事業者を含む富良野の観光情報学習及び共有の場づくり ・災害等における緊急事態への対応について、現場事業者への把握状況確認 ・災害時における、場当たりのではない明確な体制の構築検討(通訳体制等) ・外国資本企業や外国人観光客に対するルールの整備とアプローチ ・持続可能な観光地づくりモデル事業に着手 ・外資系不動産投資の実態把握と、予測される効果と懸念への対応策協議 ・観光PR素材の事業所間共有(インプット:Furanote/アウトプット:要件等) ・DMO、DMCの組織化に向けた協議成果の見える化 ・ウェブキャンペーン実行委員会と戦略会議の連結等、実働隊を持ってビジョンを稼働させる体制づくり ・地域観光戦略の各事業所への周知と、各事業所が抱える課題の把握、実践プランの把握 ・外国人観光客への滞在時のルール、海外資本企業への参入ルールについて、内容の精査とアプローチ方法を検討
			中小企業支援		
加工施設誘致					
インターン					
⑫ 免税・宅配			ガイド団体支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルを中心に観光事業者を含む富良野の観光情報学習及び共有の場づくり ・災害等における緊急事態への対応について、現場事業者への把握状況確認 ・災害時における、場当たりのではない明確な体制の構築検討(通訳体制等) ・外国資本企業や外国人観光客に対するルールの整備とアプローチ ・市を取り巻く二次交通実態の整理、検証と今後に向けた方向性の見える化 ・持続可能な観光地づくりモデル事業に着手 ・外資系不動産投資の実態把握と、予測される効果と懸念への対応策協議 ・インバウンド獲得拡大のためのスキーホスト強化 ・外国人観光客への滞在時のルール、海外資本企業への参入ルールについて、内容の精査とアプローチ方法を検討

5つの戦略 「持続性を確保する仕組み」
#20: DMOを核とした観光地ブランディング
#20 DMOを核とした観光地ブランディング（持続性を確保するしくみ）

施策	お客様の旅行フェーズ	P3より転記		2022に着手すべき取組み(カッコ内は課題属性)
⑬宿	旅中			<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルを中心に観光事業者を含む富良野の観光情報学習及び共有の場づくり ・災害等における緊急事態への対応について、現場事業者への把握状況確認 ・災害時における、場当たりのではない明確な体制の構築検討(通訳体制等) ・外国資本企業や外国人観光客に対するルールの整備とアプローチ ・持続可能な観光地づくりモデル事業に着手 ・外資系不動産投資の実態把握と、予測される効果と懸念への対応策協議 ・観光PR素材の事業所間共有(インプット:Furanote/アウトプット:要件等) ・市内宿泊事業者との宿泊税導入に向けた税額最終調整 ・北海道、総務省との宿泊税導入に向けた制度最終調整 ・DMO、DMCの組織化に向けた協議成果の見える化 ・ウェブキャンペーン実行委員会と戦略会議の連結等、実働隊を持ってビジョンを稼働させる体制づくり ・地域観光戦略の各事業所への周知と、各事業所が抱える課題の把握、実践プランの把握 ・外国人観光客への滞在時のルール、海外資本企業への参入ルールについて、内容の精査とアプローチ方法を検討 ・GPSと連動した観光客の動態把握、分析、コンテンツの改善 ・宿泊税導入に向けた制度設計及び条例提案 ・農業やものづくり、アクティビティと宿泊などを結び付けた旅の把握、集約、発信 ・体験事業者がきちんとタッグを組んで、今あるものを整理整頓しながら、お客様にアクティビティをPR、提供
⑭道路				<ul style="list-style-type: none"> ・災害等における緊急事態への対応について、現場事業者への把握状況確認 ・災害時における、場当たりのではない明確な体制の構築検討(通訳体制等) ・市を取り巻く二次交通実態の整理、検証と今後に向けた方向性の見える化 ・GPSと連動した観光客の動態把握、分析、コンテンツの改善 ・富良野市版自転車活用推進計画策定 (サイクル観光のプラットフォーム、受入環境の取りまとめと発信強化) ・都市計画と連携した、住環境、アクティビティ環境等、観光視点の設備活用を協議
⑮空間演出		スキーリゾート		
	花壇・花畑の拡大 EpicMix	空間ビジョン		

5つの戦略 「持続性を確保する仕組み」
#20: DMOを核とした観光地ブランディング

#20 DMOを核とした観光地ブランディング（持続性を確保するしくみ）

施策	お客様の旅行フェーズ		P3より転記		2022に着手すべき取組み(カッコ内は課題属性)
⑩施設管理 自然環境保護		旅中		原始ヶ原	<ul style="list-style-type: none"> ・災害等における緊急事態への対応について、現場事業者への把握状況確認 ・災害時における、場当たり的ではない明確な体制の構築検討(通訳体制等) ・外国資本企業や外国人観光客に対するルールの整備とアプローチ ・持続可能な観光地づくりモデル事業に着手 ・外資系不動産投資の実態把握と、予測される効果と懸念への対応策協議 ・観光PR素材の事業所間共有(インプット:Furanote/アウトプット:要件等) ・DMO、DMCの組織化に向けた協議成果の見える化 ・ウェブキャンペーン実行委員会と戦略会議の連結等、実働隊を持ってビジョンを稼働させる体制づくり ・地域観光戦略の各事業所への周知と、各事業所が抱える課題の把握、実践プランの把握 ・外国人観光客への滞在時のルール、海外資本企業への参入ルールについて、内容の精査とアプローチ方法を検討 ・GPSと連動した観光客の動態把握、分析、コンテンツの改善 ・サステナブルシフトへの協議 ・富良野市版自転車活用推進計画策定(サイクル観光のプラットフォーム、受入環境の取りまとめと発信強化) ・都市計画と連携した、住環境、アクティビティ環境等、観光視点の設備活用を協議
⑪満足度調査 消費額調査		旅後	SNS分析	SNS分析	<ul style="list-style-type: none"> ・各モデルコースの選出、モニターツアーの実施 ・持続可能な観光地づくりモデル事業に着手 ・外資系不動産投資の実態把握と、予測される効果と懸念への対応策協議 ・インバウンド獲得拡大のためのスキーホスト強化 ・ICカード付リフト券以降のその他サービス提供の模索 ・演旅(エンタビ)事業の検証確認により、ターゲットごとの仮プランニングで次の造成ステップへ ・観光PR素材の事業所間共有(インプット:Furanote/アウトプット:要件等) ・ノベルティ等に頼らない、顧客データ取得の継続方法を確立 ・GPSと連動した観光客の動態把握、分析、コンテンツの改善 ・富良野市版自転車活用推進計画策定(サイクル観光のプラットフォーム、受入環境の取りまとめと発信強化) ・農業やものづくり、アクティビティと宿泊などを結び付けた旅の把握、集約、発信 ・体験事業者がきちんとタグを組んで、今あるものを整理整頓しながら、お客様にアクティビティをPR、提供
⑱物産展				ライフスタイル	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な観光地づくりモデル事業に着手
⑲移住			母子手帳アプリ 広報アプリ	図書館	
				スポーツセンター ふらっと	

5つの戦略
(重点項目)

1. 滞在目的となる富良野らしさを体感できるライフスタイルの創出
2. 快適かつ安心できる賑わいと受入環境の整備
3. 来訪者の滞在を演出するサービス集積
4. 持続性を確保するしくみ
5. 住民生活の質を高める環境づくり

2022年度以降に着手すべきこと

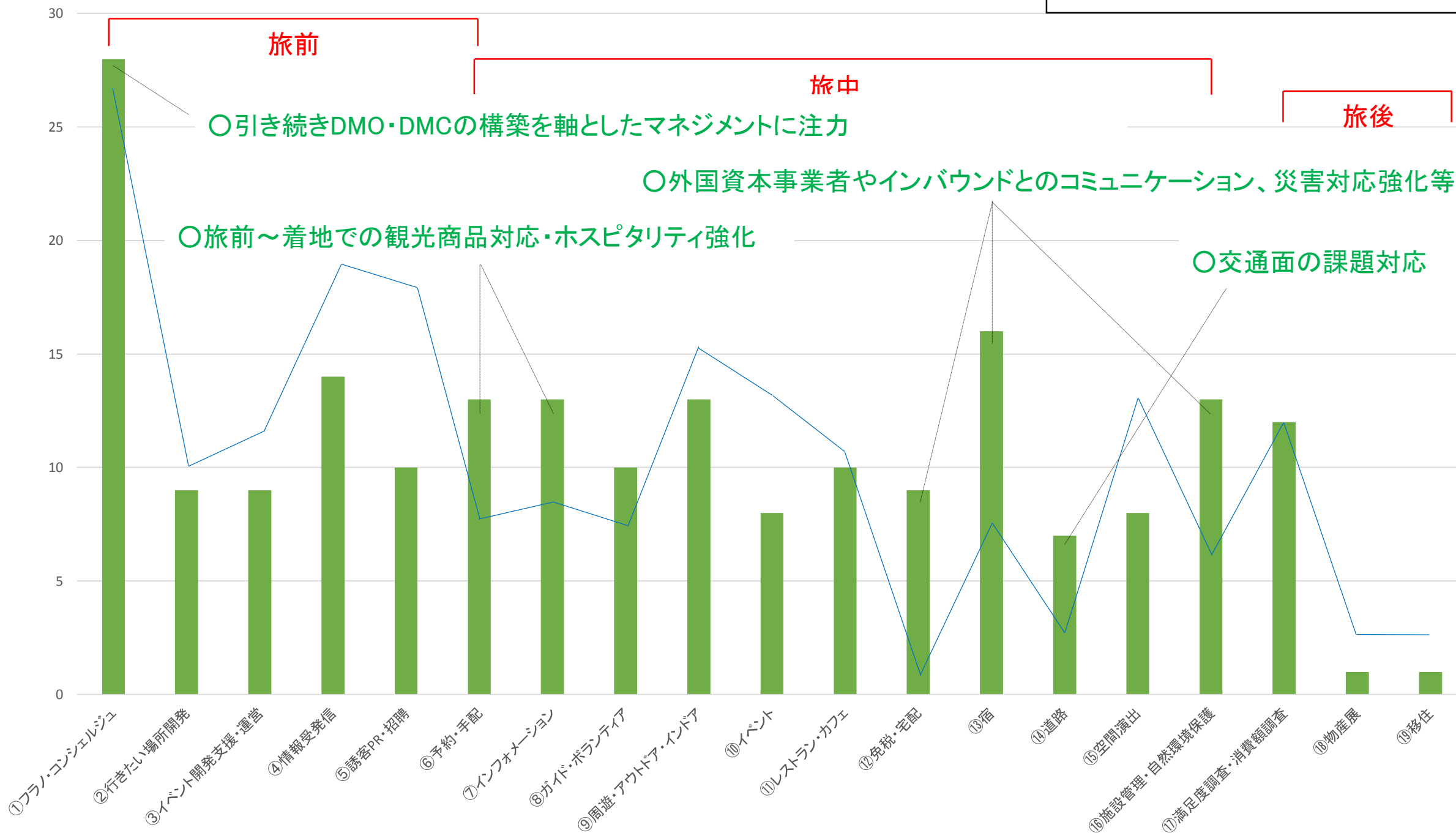
お客様目線におけるマネジメントとマーケティングのバランス

旅のフェーズ別 2022年に着手すべき事業件数バランス

「2021年度までに実施したこと」件数

2022

↓

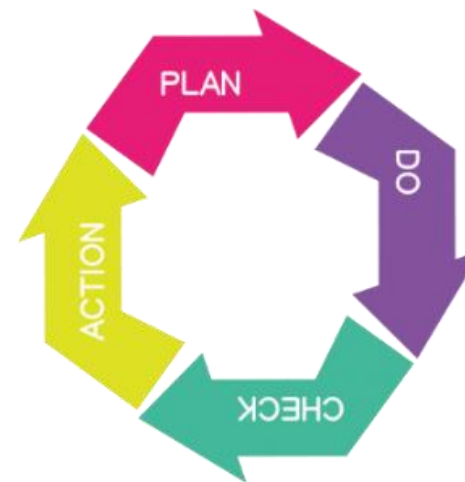
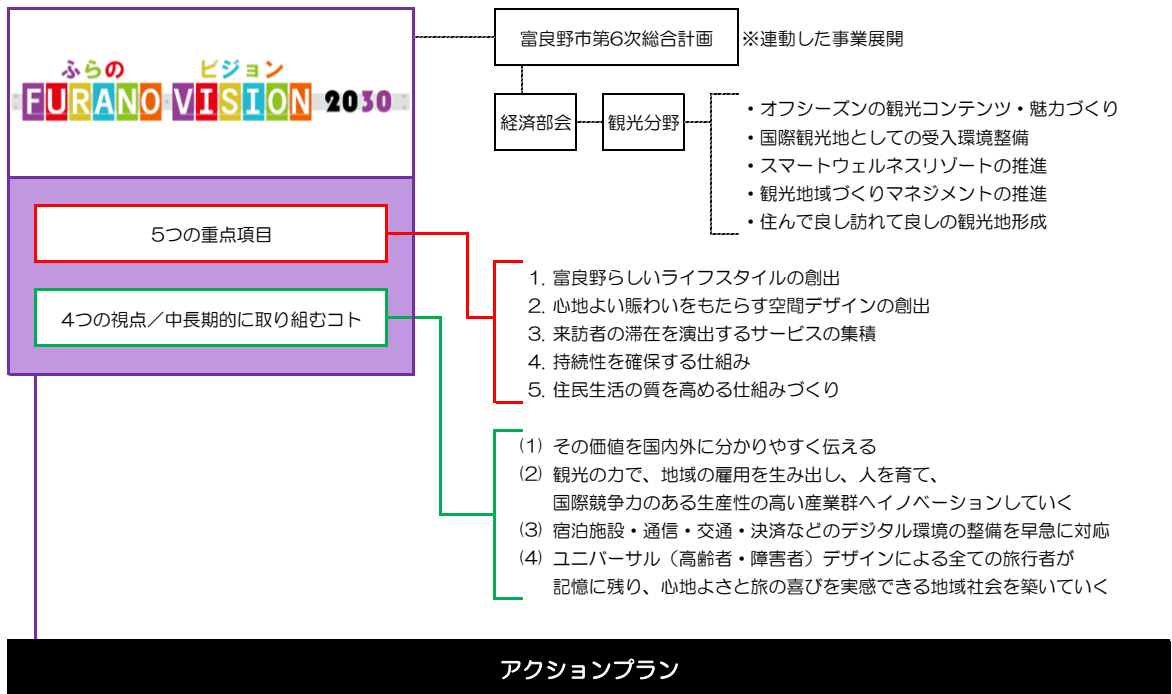


プランニングの策定スキーム・実施スケジュール

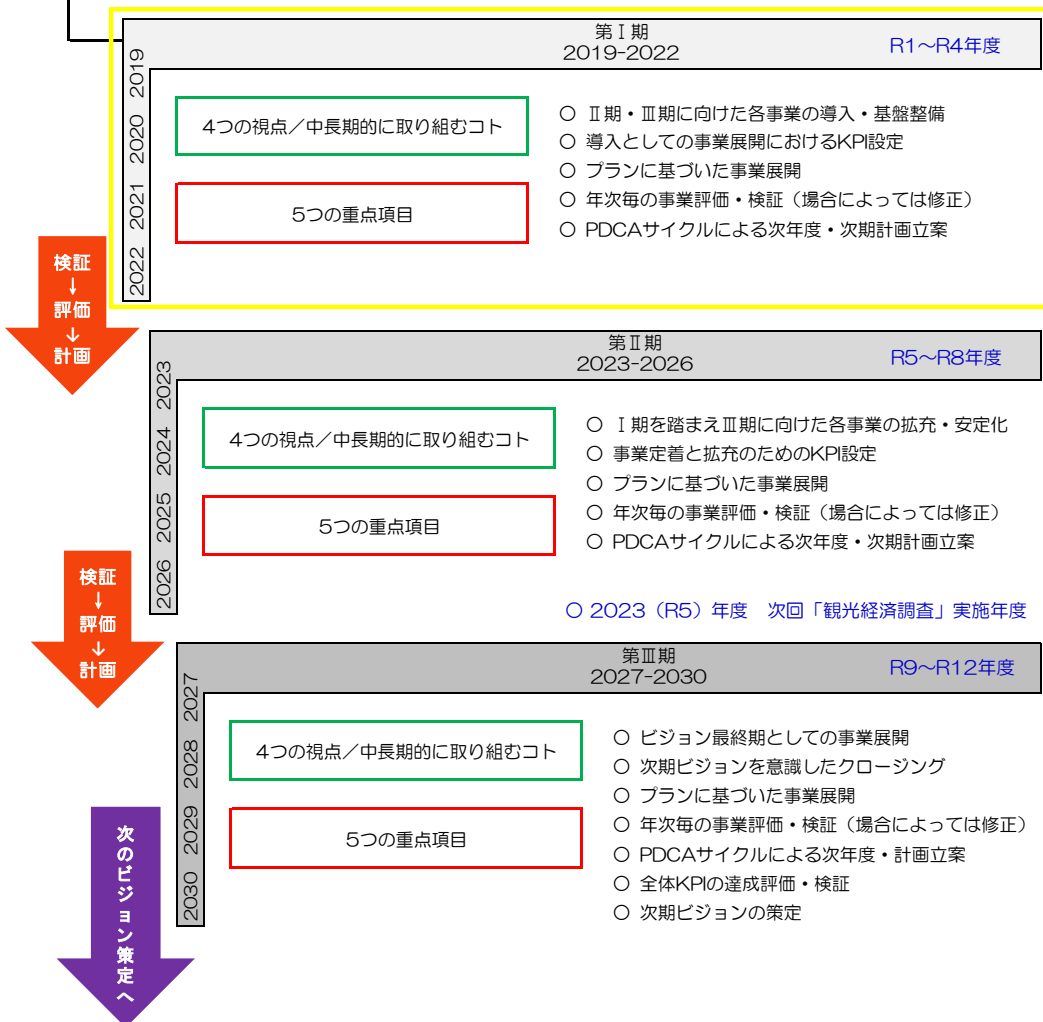
アクションプラン
ACTION PLAN

2030年までの期間をⅢ期に分けてプランニング

2019 ▶▶▶ 2022



事業の評価・検証・次期プラン提示は、ふらの観光まちづくり戦略会議が中心となって行う。



ふらのビジョン
FURANO VISION 2030

アクションプラン
ACTION PLAN
2019 ▶▶▶ 2022

第Ⅰ期

発行元 富良野市
編集 富良野市経済部商工観光課
ふらの観光まちづくり戦略会議
発行日 2022年3月

第Ⅱ期アクションプラン作成に向けて

コロナ禍により作成発行に時間をかけた
今「第Ⅰ期アクションプラン」の対象期間は
2019～2022年まで
となるため、
次期にあたる「第Ⅱ期アクションプラン」
の作成を2022年中に実施し、
2023～2026年まで
を対象期間に、
2023年度末に
次の戦略を提示いたします。

